年度	学年	教科	授業数／週
令和８年度	1	社会科	3

教科書
東京書籍「新しい社会　歴史」　東京書籍「新しい社会　地理」帝国書院「地図帳」
補助教材
新学社「社会の自主学習　歴史１」　新学社「社会の自主学習　地理１」　浜島書店「資料カラー歴史」

年間指導目標
古代から近世までの歴史及び世界地理の学習をすることにより、社会的な見方・考え方を働かせ、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

観点	評価材料	評価基準
知識 技能	・定期テスト（知識及び技能） ・小テスト（知識及び技能）	定期テストとその他の評価材料の比率をおよそ８：２から７：3とし、その達成率により、下記の基準に基づきA、B、Cをつける。
思考 判断 表現	・定期テスト （思考、判断、表現） ・グループ活動でのワークシート	定期テストとその他の評価材料の比率をおよそ８：２から７：３とし、その達成率により、下記の基準に基づきA,B,Cをつける。
主体的に 学習に 取り組む 態度	・振り返りシート ・副教材ワーク ・授業内での取り組み ・グループでの話し合い	Ｂは授業のワークシートの空欄をなくし、毎時間提出できる。そして振り返りシートに毎時間記入し、期限内に提出できる。Aはその上で内容も充実している。副教材ワークは丸付け、解きなおしまで終えて期限内に提出できる。Bに満たないもの、取り組みが雑なものはC。

授業の評価について	
注意事項	①ノートはA４サイズのもので、地理と歴史とを分けること ②忘れ物がある場合は必ず授業前に申告すること。 ③振り返りシートは毎授業後に必ず記入すること
アドバイス	授業の受け方 （１）授業では、設問をよく読み、また先生の質問や指示をしっかり聞いて課題や作業に取り組みましょう。 （２）学習用具は必要に応じて用意します。作業等で色鉛筆を使うこともあるので常備しておくとよいでしょう。 （３）話し合いの時と、自分（ひとり）で考える時をしっかり区別しましょう。 ノートの取り方 （１）地理と歴史とは別に用意します （２）学習プリントは授業ごとに貼っていきます。重要語句はアンダーラインを引くなど工夫をしましょう。 （３）その他、気が付いたことがあったら書きとめておきます。 （４）最後までやり終えることができなかった箇所は、家に帰ってから補っておきましょう。 家庭での勉強の仕方 （１）予習・・・次のページの教科書を読んでおくとよいです。 （２）復習・・・教科書の太字をしっかりと理解しておくことが大切です。

年間指導計画			
学期	月	単元	テスト・評価
1学期	4	【地理】 第１章　「世界の姿」 第２章　「日本の姿」	
	5	第２章　「日本の姿」 第１章　「人々の生活と環境」 【歴史】 第１章　「歴史へのとびら」 第２章　「古代までの日本」	地理の単元テスト（知）
	6	第２章　「古代までの日本」	期末テスト(知・思)
	7	第２章　「古代までの日本」	歴史の単元テスト（知）
夏休み	8		
2学期	9	【地理】 第２章　「世界の諸地域」	中間テスト(知・思・主)
	10	第２章　「世界の諸地域」	地理の単元テスト（知）
	11	第２章　「世界の諸地域」 【歴史】 第３章　「中世の日本」	期末テスト(知・思・主)
	12	第４章　「近世の日本」	
3学期	1	第４章　「近世の日本」	歴史の単元テスト（知）
	2	【地理】 第１章　「地域調査の手法」	学年末テスト(知・思・主)
	3	第１章　「地域調査の手法」	地理の単元テスト（知）